

未来の熊谷を担う子どもたちの視点を市政に生かす 第9回 夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました

11月14日、市内の16の中学校から代表として選ばれたジュニア議員が、市政について感じていること、疑問に思っていることを、堂々とした態度で質問を行い、市長をはじめ、副市長、教育長、担当部長が答弁しました。
◆広報広聴課 内線206



熊谷市の暑さ対策は面白いアイデアがありますか、今後はどのような対策を考えていますか。

熊谷市は、暑さから市民を守る健康対策やヒートアイランド対策を中心とした「あつさ はればれ 熊谷流」という5本の柱からなるプロジェクトを掲げ、様々な暑さ対策に取り組んでいます。
平成22年度からは、市役所の若手職員を中心とした「暑さ対策プロジェクトチーム」を立ち上げ、「暑さ対策事業」を生み出しています。
これから行う事業は、熊谷駅前通りの歩道に藤棚を設置し、木陰を創り出す「藤のパラソル事業」などがあります。これからの「暑さ対策日本一」のまちとして、様々な



新しい対策を実施したいと考えています。

熊谷さくらマラソン大会は、限られた時間で、多くのレースを行うため、前回の大会では、陸上競技場のフィニッシュ付近にランナーが集中するケースもありましたので、次回大会では、5キロの競技のスタート時間を5分早めるほか、コース整理員の適切な配置等を行い、ランナーの安全を確保していきます。
大会を盛り上げていく計画ですが、競技場の北側を通る幹線3号線が新たに開通したことから、ハーフの一部と5キロのコースを変更します。
このほか、ハーフと10キロでは、公式記録のほかスタートからゴールまでの実際の時間を計測する「ネットタイム」を導入することや、競技区分を見直し、入賞のチャンスを増やすなど、参加者の要望に応え、魅力のある大会となるように工夫していきます。
これからの、多くの皆さんに愛される大会にしていきたいと考えています。

ワークショップ

本議会の準備段階として、ジュニア議員同士の交流と市政への理解を深めもらうため、夏休みにワークショップを2回開催し、自己・学校紹介、グループ討論や市職員を講師に学校の予算、交通バリアフリーについて学習しました。
各学校での活動の様子や、熊谷市の取組みについてなど、活発に意見を出し合い、学校間の交流や仲間との情報交換も行うことができました。
ワークショップを行い、議会を開催する方法は、全国的にも珍しく、子ども・若者の意見聴取等を行う取組みとして有効な事例であると、内閣府の子ども・若者育成支援推進点検・評価会議から高い評価を受けています。



うちわ祭や花火大会などの伝統文化について、どのようなアピールをしていますか。

今年の「熊谷うちわ祭」には3日間で75万人、「熊谷花火大会」は、あいにくの雨模様でしたが、30万人の人数がありました。
このように、熊谷には市内外から大勢のお客様を引き付けるたくさんの観光資源があり、効果的なPRを行っていくことが必要です。例として、うちわ祭のポスターを首都圏の駅に掲示したり、わかりや

すく手に取ってもらいやすい観光情報誌「るるぶ熊谷」を発行し、高速道路のサービスエリアなどにも置いてあります。
また、10月に「熊谷市観光協会ホームページ」を一新しました。写真等を多用した、よりアクセスしやすいデザインが好評で、多くの方々に熊谷を訪れていただくきっかけづくりになると考えています。
さらに、「あついで！熊谷お祭り条例」では、7月1日を熊谷お祭りサポーター宣言の日と定め、お祭りに対する意識の高まりを図ることとして

このほかにも、観光・物産展やスポーツイベント等で、観光PRや、名産品や地元グルメのお店を出店をお願いするなど、熊谷の魅力発信に積極的に取り組んでいます。
各学校の屋上やプールの日よけなどに太陽光パネルの設置を検討していただけますか。

体育館を建替える際、屋根に太陽光発電パネルを設置し、皆さんの環境教育に役立つとともに、学校の電力の一部を補っています。これまでに、15校の学校に太陽光発電パネルを設置し、現在新たに3校で設置工事を実施していますが、これから建替えを予定している体育館の屋根にも整備していく考えています。
また、構造上の問題により2校のみですが、屋根貸し事業として、有料で屋根等を民間会社に貸して、その会社が太陽

光パネルを設置し、発電した電気を売るとともに、災害などによる停電の時には、優先的に学校でその電気を使える事業に取り組んでいます。
プールに太陽光パネルをとこの提案は、費用や構造上の課題がありますが、熱中症予防と発電の二石二鳥で面白い考えだと思えます。



ジュニア議員名簿(敬称略)
◎=議長 ○=副議長

学校名	議員氏名
荒川中学校	谷田 和基 ◎
	大原 理世
富士見中学校	大澤 孔
	阿南 美穂
大原中学校	高橋 佑弥
	安部 希望
熊谷東中学校	梅澤 恒喜
	池内 日向子
玉井中学校	泉田 瞭
	秋山 比奈珠
大麻生中学校	長谷部 俊
	高橋 花織 ○
中条中学校	竹本 幹太
	吉野 颯希
吉岡中学校	成田 州都
	定方 優芽
別府中学校	片桐 真人
	福島 愛奈
三尻中学校	松村 峻充
	倉田 こゆき
奈良中学校	小杉 健太
	小宮 恵奈
大幡中学校	四分一 翔太
	村上 安里彩
大里中学校	堅田 龍太郎
	小池 里奈
妻沼東中学校	中原 大樹
	前原 南名
妻沼西中学校	大岡 遥人
	大塚 彩奈
江南中学校	飯田 龍
	恒吉 夏美

ジュニア議員の感想

- ・熊谷市の未来を見据えた施策を考え、取り組んでいることがすごいいいと思いました。
- ・普通、入れない議場の議席に座ることができ、本当に貴重な経験でした。
- ・今まで全く知らなかった議会の仕組みを学ぶことができました。
- ・このジュニア議会を経験した事で、大きく成長できたと思います。
- ・ワークショップでは、他校の生徒と話し合いができ、とても有意義でした。
- ・質問に対してとても丁寧に答弁していただき嬉しかったです。
- ・将来、議員席に座れるように日頃の勉強を頑張りたいと思います。



フォトニュース



最新の施設を視察

11月26日、埼玉県知事の「とことん訪問」が県北部地域で行われ、市長は県知事とともに、(株)リケン環境システムを訪れ、会社の概要や最新の施設について説明を受けました。



浮かび上がる暖かな灯り

11月16日、中央公園において、家族のきずな・地域のつながりをテーマとした「第4回くまがやまの灯り」が開催されました。各家庭で製作した段ボールハウスを持ち寄り、一斉にLED電球であかりを灯しました。



交通安全フェア

11月16日、熊谷スポーツ文化公園にぎわい広場において、「第3回くまがや交通安全フェア」が開催されました。パトカーや白バイ等の展示、各種体験コーナーなどを通し、来場者へ交通安全の啓発を行いました。



赤ちゃんってかわいいなあ！

11月5日、妻沼高校でふれあい体験「mama&baby招待講座」が行われました。この講座では、赤ちゃんとお母さんを迎え、子育ての楽しさや大変だったことなどを生徒に話しました。



新しい友達ができたよ！

11月16日、商工会館大ホールにおいて国際交流パーティーが開催されました。参加者は踊りやゲーム、出し物を楽しみ、お互いの文化などを紹介しあいながら交流を深めました。



郷土の美味しいものに大満足

11月15日、16日に熊谷スポーツ文化公園で第10回熊谷市産業祭が開催されました。両日も好天に恵まれ、新鮮な地元の農産物やおいしい郷土料理を求めて来場した大勢の人で賑わっていました。



イルミネーションで華やかに

11月14日、熊谷駅東口ロータリーにおいて「熊谷ウインターイルミネーション2014」の点灯式が開催されました。鮮やかに輝くイルミネーションのもと、保育園児の合唱やミュージシャンによるライブなどが行なわれました。



アジアパラでの好成績、喜びの報告

11月10日、インチョン2014アジアパラ競技大会に出場した岸光太郎さんと高桑早生さんが市長を表敬訪問しました。岸さんはウィルチェアラグビーで金メダル、高桑さんは陸上競技女子100メートルで銅メダルを獲得しました。



ハンマー投げで国体優勝！喜びの報告

「長崎がんばらば国体2014」少年女子Aハンマー投げで、53m04という記録で見事優勝した、本市妻沼地区出身の江原宇宙(こすも)さんが、市長に喜びの報告をしました。



フォーラムくまがや2014で男女共同参画推進表彰

11月22日、文化センター文化会館において、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる「MSD(株)妻沼工場」と「社会福祉法人でしこ会」の2事業所と「(株)ピーイー代表取締役社長 植竹知子氏」が表彰されました。



見て、ふれて、火災予防を楽しく学ぼう！

11月9日、消防フェアが行われ、防火ポスターコンクールの表彰式が行われました。会場は、初期消火体験コーナーや熊谷市消防音楽隊によるミニコンサートなどで盛り上がりしました。

おたよりパレット

テーマ
2015年の目標

あけましておめでとうございます。「一年の計は元日にあり」ということで、2015年の目標について教えていただきました。どうか無理せず楽しく、頑張ってください。おたよりパレットは、市ホームページ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>でも、更に詳しく紹介しています。

市報クイズ11月号で寄せられたご意見を紹介します。

- 数多くのボランティア活動をするのが目標です。仕事の合間なのでなかなか思う通りになりませんが、可能な限り挑戦します。(50代・男性)
- 2015年は、子どもは小学生に、私は新たな職場にと、環境の変化があります。お互い体調に気をつけながら、新生活を頑張りたいです。(30代・女性)
- 2015年の目標は「折り紙の上達」です。5歳の孫と折り紙で時々遊ぶのですが、指先の病気もあって、細かい作業がとっても大変です。リハビリも兼ねながら、孫がびっくりする様な、色んな形の折り紙を、ささっと折れるように頑張るつもりです。(60代・女性)
- 2015年こそ、使わないものを捨てる！子どもも誕生し、これからますます物が増えてくると予想。だからこそ、2015年は断捨離です。(40代・男性)

今月のテーマ、「記憶に残る恩師とのエピソード」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

応募方法
ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「記憶に残る恩師とのエピソード」のコメント「希望サイズMかL」を必ず記入し、1月23日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。
《応募先》〒360-8601 宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課
☒ kohokocho@city.kumagaya.lg.jp
※当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

11月号の正解
① くらしのカレンダー ② 埼玉県農業大学校
◆ 応募総数41通中、正解40通

今月の問題
次の□に入ることを、それぞれお答えください。
① 未来の熊谷を担う子どもたちの視点を市政に生かす第9回 夢・未来□□□□ 議会が開催されました。
② 来て！見て！知って！文化財 今月のテーマは □□ 古墳群です。

今月のプレゼント
星川通り商店街振興会ご提供の「ラバーダックレース限定パーカー」を、正解者の中から抽選で3人にプレゼントします。(※サイズは、M・Lの2種類から選ぶことができます) ※モデル(170cm)はMサイズ着用

読んで当てよう
市報クイズ

夢追人



ふる里への思いと訪れた転機

20代前半は生まれ育った熊谷を離れ、航空会社で働いていましたが、退職後、熊谷へ戻ってからは、「さくら大使」としての活動をさせていただけました。熊谷を一度離れたからこそ再発見できたふる里の良さや懐かしさというものを強く感じていて、「ふる里のために何かをしたい」と思っていたからです。そんな時、さらに新たな転機がやってきました。地元ケーブルテレビの方に「機会があれば番組

に出てみないか。」とお声掛けをいただいたんです。そのことがきっかけで、番組にアシスタントやリポーター、アナウンサーとして出演させていただくことになりました。

自分らしく今を伝える

現在は、地元ケーブルテレビのいくつかの番組でキャスターを担当させていただいています。

私の仕事は「伝える」こと。熊谷の街や人が好きだからこそ、四季を通じて「熊谷」を色々な角度から伝えたい。「まちかどワイド」という番組では、その冒頭に20〜30秒のフリートークがあるんですが、そこでは私の「今伝えたいこと」を凝縮させるようにしています。難しくもあり、一番ワクワクするところでもあります。熊谷の歴史についてや、街を歩いていて感じたこと、時には悲惨な事件のこと…。自分らしい言葉で伝えるように心掛けています。

夢は冠番組！多くの人を紹介したい

私の同世代の人たちはそれぞれが様々な場面で活躍



市内でリポートする山本さん

しています。それが私にとって刺激となり原動力にもなっています。熊谷市内には、何かに一生懸命に取り組む、輝いている人たちがたくさんいると思いますし、そんな方々にスポットを当てた番組ができればいいなって思っています。夢は「絢女の部屋」ですね(笑)。そのためにも自分なりに常に広くアンテナを張って情報収集したり、人との出会いを大切にしていきたいです。

私は、この街と人が大好きなので、これからもふる里熊谷から様々な情報を発信していきたいと思っています。市内をリポートや取材していることもよくありますので、街で見かけたらぜひ気軽に声をかけてくださいね！

来て！見て！知って！文化財

塩古墳群

—古墳の形をめぐる調査の歴史— 塩328他

県指定史跡「塩古墳群」は、古墳時代前期(3世紀後半から4世紀終わり頃)に造立した古墳群であり、7つの支群によって構成され、75基の古墳が確認されています。その多くは、弥生時代の流れを引き継ぎ、大小二つの四角形を連結させた形の「前方後方墳」と四角形の「方墳」に分類されます。

平成5年に、古墳群の中心となるI支群1号墳の発掘調査が行われ、古墳の周りの溝から、埋葬者に供えられたと推定される土器が出土しています。この調査では、古墳の隅がほぼ直角に折れ曲がるのが分かり、全長35.3メートルもの規模を有する「前方後方墳」であることが判明したのです。

昭和30年代頃の調査では、この1号墳と隣接する2号墳は「前方後円墳」と認識されていました。しかし、昭和53年に測量調査を行ったところ、後円部が丸ではなく平らで直線的な形状

が示されました。昭和56年の再調査の際には、更に測定の精度が上がり、各辺が直線的になる「前方後方墳」の可能性が高くなったのです。

そして平成5年の発掘調査によって、墳形が「前方後方墳」として確定し、周囲に残されていた古墳も円墳ではなく、方墳であることが分かりました。これにより前方後方墳と方墳で構成された、当地でも古い時代の古墳群であるという特質が明らかになったのです。このことから塩古墳群は、県内の古墳の始まりを考える上で重要な意義を持っています。

◆江南文化財センター 048-536-5062



人口と世帯

平成26年12月1日現在(対前月比)

■人口 201,695人(-96) 男 100,577人(-55) 女 101,118人(-41) ■世帯 83,578世帯(-12)

「市報くまがや」1月号は、72,400部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり14円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。